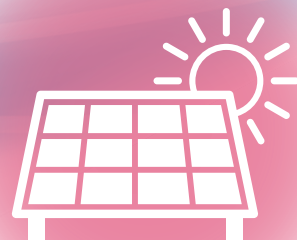


第47期 中間期 株主通信

2024.4.1～2024.9.30



次世代へ快適な環境を
人が暮らし、集う場所にサニックス

SANIX
株式会社サニックス



代表取締役社長

宗政 寛

ご挨拶

株主の皆様には平素よりご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

第47期中間期(2024年4月1日から2024年9月30日まで)における業績報告として、ここに「株主通信」をお届けいたします。

当社グループは、脱炭素社会の実現や循環型経済への移行など持続可能な社会づくりが重要性を増す中、将来の成長・発展を見据え、住環境領域、エネルギー領域、資源循環領域の各事業をそれぞれ独立した会社として分社化し、2025年4月1日に持株会社体制へ移行する構想で動き出しています。各事業を取り巻く環境の変化や事業特性に応じて、柔軟かつスピード感のある事業展開を行うことでさらなる成長を図ってまいります。また、企業理念である「次世代へ快適な環境を」のもと、多様化するお客様のニーズにお応えしながら、社会課題解決の一翼を担ってまいります。

なお、2025年3月期の中間配当につきましては、財務基盤の強化や今後の事業展開に必要な内部留保の確保などを総合的に勘案し、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。株主の皆様には深くお詫びを申し上げますとともに、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

期末配当は現時点では未定としておりますが、2024年9月2日には欠損填補を実施し、早期復配に向けて着実に財務体質の健全化を進めております。配当予想の開示が可能になった時点で速やかに公表します。

今までとは異なる発想、新たな取り組みを積極的に取り入れ、将来の大きな成長につなげていく所存です。どうぞこれからの展開にご期待ください。

引き続き、皆様のご期待にお応えできるよう、当社グループ一丸となって、企業価値向上に取り組んでまいります。重ねて、株主の皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年12月

Q 当中間期の決算概況について教えてください。

当中間期(2024年4月1日~9月30日)の売上高につきましては、資源循環領域における発電事業において、電力市場価格が大幅に下がった影響を受け、電力卸売りよりも単価の高い小売りを主体とした売電に変更しましたが、前期程度の売電契約単価の水準に至りませんでした。また、苫小牧発電所は稼働から約20年経過しました。将来の安定稼働に向けて、ボイラーの大規模な設備更新を2024年4月から5月にかけて実施した影響もあり、グループ全体の売上高は、21,259百万円(前年同期比5.9%減)となりました。利益につきましては、苫小牧発電所における売電契約単価の低下による減収の影響により、グループ全体の損益は、650百万円の営業利益(前年同期比56.1%減)、499百万円の経常利益(前年同期比62.8%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は270百万円(前年同期比76.0%減)となりました。一方で、発電事業を除くグループ全体の売上高は前年同期比0.4%とわず

かに減収となりましたが、営業利益は前年同期比15.1%の増益であり、そのほかの事業は堅調に推移しています。

当中間期は、概ね計画通りに進捗しています。2025年3月期の通期業績見通しは、2024年5月15日に発表した売上高46,246百万円、営業利益1,715百万円の数値より変更はありません。引き続き、通期計画の達成を図り、「住環境」「エネルギー」「資源循環」の3つの事業を柱にさらなる事業拡大を目指してまいります。

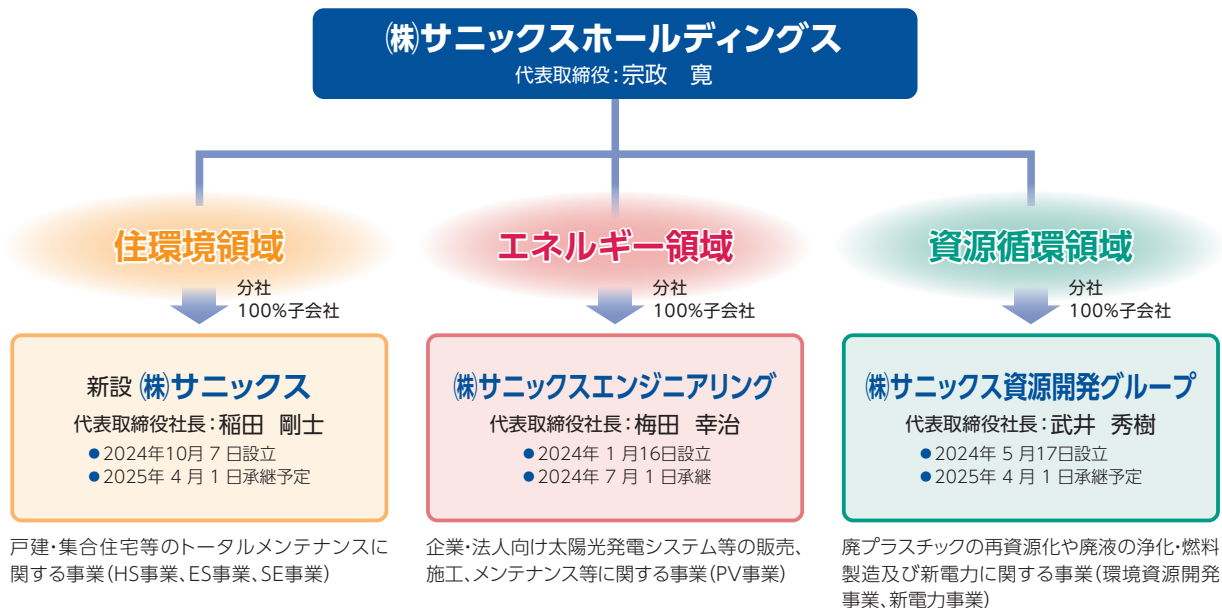
決算ハイライト

売上高 **21,259百万円** (前年同期比 5.9%減)

営業利益 **650百万円** (前年同期比 56.1%減)

親会社株主に帰属する
中間純利益 **270百万円** (前年同期比 76.0%減)

■ 2025年4月以降の持株会社体制イメージ



Q 持株会社体制への移行の進捗について教えてください。

既報の通り、当社グループは2025年4月に持株会社体制へ移行し、「(株)サニックス」から「(株)サニックスホールディングス」になる予定です。

当社グループが目指すのは、①快適な住環境を次世代へつなぐ、②環境負荷の低いエネルギー、③資源を捨てずに循環させる、これらの概念が「当たり前」として定着する社会の早期実現です。その加速に向けて、持株会社体制への移行を決定し、準備を進めています。

段階的に、まずは法人向け太陽光発電事業 (PV事業) を担う(株)サニックスエンジニアリング及び、建設業に特化した(株)サニックスホームビルドサービスを、2024年7月に始動しました。2025年4には、住環境領域、資源循環領域も分社し、持株会社体制へ完全移行する予定です。戸建・集合住宅等のトータルメンテナンスに関する住環境領域 (HS事業、ES事業、SE事業) は、2024年10月に新たに設立

した「(株)サニックス」へ、廃プラスチックの再資源化や廃液の浄化・燃料製造及び新電力に関する資源循環領域 (環境資源開発事業、新電力事業) は2024年5月に設立した「(株)サニックス資源開発グループ」に承継します。それぞれの事業が、事業環境の変化や事業特性に応じた柔軟かつスピード感のある事業運営を行い、成長を図ってまいります。

当社グループは、2025年4月持株会社体制となって新たなスタートを切ります。図らずも創業50周年の節目の年でもあります。今後は新体制の下、意思決定の迅速化を図りながら、積極的な事業提携やM&Aも視野に入れ、一層の事業拡大と新生サニックスグループ一丸となってさらなる企業価値の向上を目指してまいります。

資源循環領域：さらなる事業基盤の拡大に向けた取り組み

廃棄物管理システム「環境エース一元くん」の販売強化へ

資源循環領域では、廃プラスチックの燃料化・リサイクル事業及び、食品工場などから排出される廃液の浄化・リサイクル事業を中心に、事業基盤の拡大及び資源循環型社会の構築を目指しています。その一つとして、排出事業者向け廃棄物管理システム「環境エース一元くん」の販売強化を進めています。

廃棄物管理システムの普及拡大と高度化により、将来的には廃棄物のリサイクルネットワークを構築し、安定した事業基盤の構築を目指していきます。

「環境エース一元くん」2025年度末4万件超を目指す

① トライアル

無料キャンペーン



② 認知拡大

CM/広告など



シェア獲得

事業基盤の拡大

「一元くん」シリーズの
収益増加



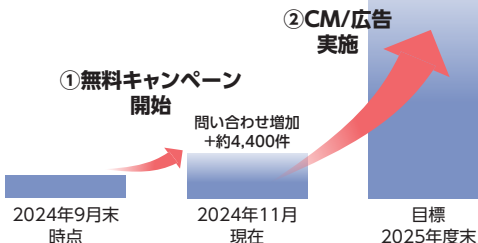
新規廃棄物の
受入増加

価格競争の中でも、付加価値の高いサービスを提供することで、顧客流出を防止する

2027年度下期より無料期間が終了し、業績拡大に貢献し始める

環境エース一元くん(販売目標)

4万件超



トライアル

「環境エース一元くん」の利用料
2年間無料キャンペーン実施

公募期間 2024年10月1日～2025年9月30日

※無料対象期間:システム運用開始日から2年間

初期費用・保守費用

無料



利用料

2年間:無料

導入コストを最小限に抑え、廃棄物業務の課題を解決へ

認知拡大

テレビ番組などで
「環境エース一元くん」のPR実施

動画はこちら



番組概要

ええじゃないかBiz
番組名 (ビジネスパーソンをメインターゲットとした情報番組)
放送局 TOKYO MX放送(放送地域:東京都)
内容 「環境エース一元くん」のPR

さらに…

テレビCMや新聞広告、Web動画・広告などを実施予定

「一元くん」シリーズとは？

廃棄物管理業務のあらゆるシーンをサポートするシステムです。

排出事業者向け廃棄物管理システム 無料キャンペーン対象

環境エス

一元くん

サービス
詳細はこちら



- ▶ 廃棄物の回収・処理の流れ、量やリサイクル率など、廃棄物のすべてを「見える化」し、適正で効率的な業務遂行を実現するシステム

2022年4月1日より 販売開始
2024年5月に「一元くん」に商品名称を変更し、さらに、CO₂排出量の集計など機能をバージョンアップ

排出事業者の

- ① コンプライアンス (法令遵守)
- ② 一元管理で、廃棄業務の省力化・効率化
- ③ 「見える化」により、コスト適正化及び環境貢献 (脱炭素・資源循環・SDGs)

を実現

中間処理事業者向け廃棄物管理システム

産廃エス

一元くん

サービス
詳細はこちら



- ▶ 見積書の作成、マニフェスト作成、入金・支払い管理といった、中間処理事業者向け業務をデジタル化し、適正で効率的な業務遂行をサポートするシステム

2024年5月15日より 販売開始

収集運搬事業者向け廃棄物管理システム

収集エス

一元くん

サービス
詳細はこちら



- ▶ 一般廃棄物に関する契約、受付、配車、収集運搬、車両管理、各種集計といった、収集運搬業務を「見える化」し、適正で効率的な業務遂行をサポートするシステム

2023年5月1日より 販売開始

「一元くん」シリーズの誕生秘話

現代社会における廃棄物管理は、地球環境を守るための重要な課題となっています。都市化と産業化の進展により、廃棄物の量は増加の一途をたどり、その処理が環境に与える影響も深刻化しています。それに伴い、コンプライアンス遵守、廃棄物処理法、不法投棄、属人化、ペーパーレス、事務負担軽減など、廃棄物業界には解決すべき課題が多くあります。そんな「廃棄物業界の課題を解決したい」という想いから、「一元くん」シリーズは誕生しました。

廃棄物業界の問題

- ① 属人化問題
- ② 管理コストと作業時間の増大
- ③ その他法令遵守 等

問題を解消すべく「一元くん」シリーズが誕生

環境エス

一元くん

産廃エス

一元くん

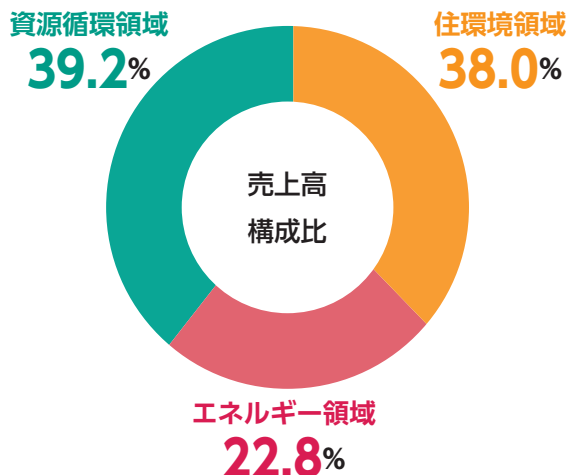
収集エス

一元くん

誕生秘話の
詳細はこちら



当中間期 営業の概況



売上高 **21,259**百万円

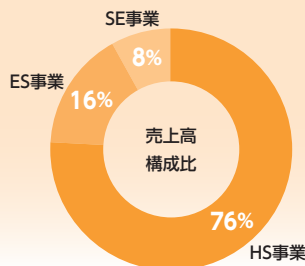


営業利益 **650**百万円

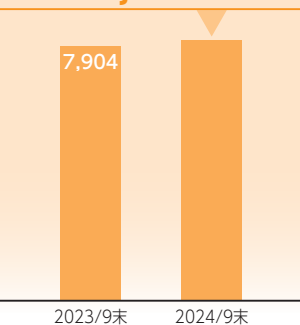


住環境領域

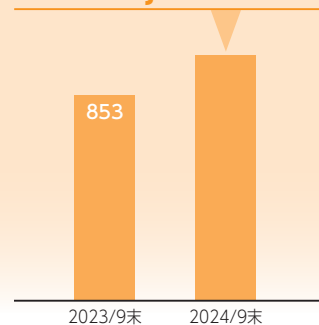
快適な住環境を次世代につなぐのが当たり前の社会へ



売上高 **8,084**百万円



営業利益 **1,017**百万円



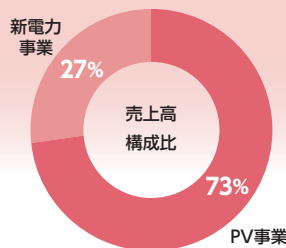
当中間期の 営業概況

住環境領域では、法人営業体強化に加えて、営業力と顧客基盤を生かした既存事業の拡大により、売上高は8,084百万円(前年同期比2.3%増)となりました。営業損益は、高い限界利益を維持し、安定した収益基盤を確保できたことにより1,017百万円の営業利益(前年同期比19.2%増)となりました。

特に主力事業であるHS(ホーム・サニテーション)事業は、前期より新規顧客の開拓を重視した営業方針を強化し、顧客基盤の拡充に向けた取り組みを推進してまいりました。この結果、「白蟻防除施工」が前年同期比7.1%減、「床下・天井裏換気システム」が前年同期比0.7%減となったものの、「基礎補修・家屋補強工事」が前年同期比0.9%増、住宅改修工事を含むその他が前年同期比25.2%増となり、売上高は6,184百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益1,013百万円(前年同期比13.7%増)となりました。

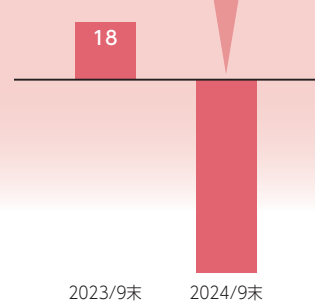
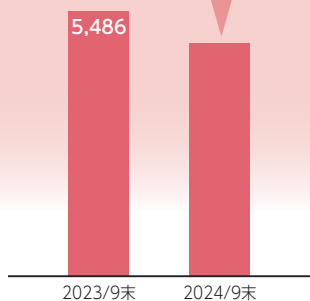
エネルギー領域

環境負荷の低いエネルギーが当たり前の社会へ



売上高 **4,837**百万円

営業利益 Δ **60**百万円



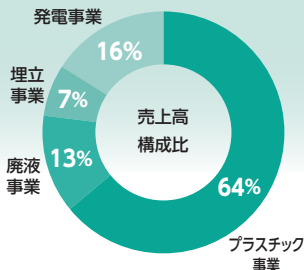
当中間期の 営業概況

エネルギー領域では、脱炭素社会実現に向けた取り組みの本格化と電力コストの高騰を背景に受注は堅持しております。一方で、電力会社との系統連系の遅れや案件の大型化・高度化等により受注から施工までの期間が長期化し、売上計上時期に遅れが生じたことから、売上高は4,837百万円(前年同期比11.8%減)となりました。営業損益は、材料コストの低下等により粗利率は改善してきているものの、前年同期比減収となったこともあり、60百万円の営業損失(前年同期は18百万円の営業利益)となりました。

なお、新電力事業は、電力調達にかかる価格変動リスクの低減のため、採算性の確保を優先し事業縮小したことから、売上高は1,309百万円(前年同期比1.9%減)、営業利益88百万円(前年同期比27.8%増)と継続して利益確保できております。

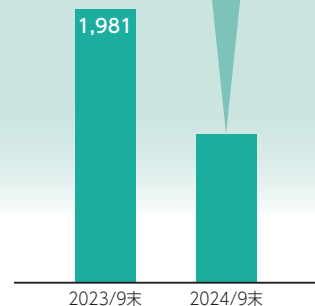
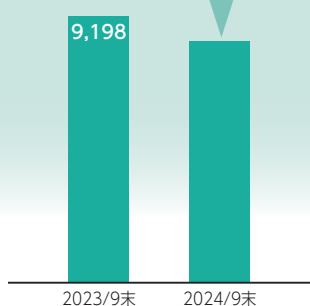
資源循環領域

捨てないのが当たり前の社会へ



売上高 **8,337**百万円

営業利益 **1,079**百万円



当中間期の 営業概況

資源循環領域では、電力市場価格が大幅に下がった影響を受け、苫小牧発電所の売電契約単価が大きく低下したことに加えて、ボイラーの大規模な設備更新を2024年4月から5月にかけて実施したことから、「発電事業」が前年同期比48.1%減となり、売上高は8,337百万円(前年同期比9.4%減)となりました。営業損益は、苫小牧発電所における売電契約単価の低下による減収等の影響により、1,079百万円の営業利益(前年同期比45.5%減)となりました。

なお、「発電事業」以外の売上高は、「プラスチック事業」が前年同期比5.1%増、「廃液事業」が前年同期比7.3%増、「埋立事業」が前年同期比13.1%増とそれぞれ堅調に推移しており、発電事業を除く売上高は前年同期比6.1%増、営業利益は前年同期比6.9%増となりました。

サニックスのCSR

当社グループは、事業活動によるお客様への価値提供を通じて社会課題の解決を図ることを価値創造モデルとしており、このビジネスモデルによって、「次世代へ快適な環境を」という企業理念を実現してまいります。

数字で見るサニックスグループ (2024年9月末現在)



シロアリ消毒施工軒数
約**838,000**軒



ベストコントロール施工軒数
(事業所向け害虫・害獣防除)
約**34,000**軒



給排水管維持管理施工件数
(防錆機器設置等)
約**40,000**件



廃液処理量
約**2,600,000**t



ユース世代のスポーツイベント
歴代参加者数
(ラグビー・サッカー・ハンドボール・新体操・柔道)
44カ国・地域から約**55,500**人

地球環境への貢献



太陽光発電販売・施工件数
(自社施工分)
約**50,000**件
(うち住宅用 約20,000件)
容量で約**1.4GW**(原発1基分相当)



資源循環型発電
プラスチック処理量
約**6,300,000**t
苫小牧発電所 発電量
約**5,400,000**MWh

スポーツ・文化を通じて、青少年の健全育成と国際交流に貢献

サニックス杯 国際ユースサッカー大会 2024年3月13日～17日 開催 2003年から、毎年3月下旬に開催

主催：(一社)九州サッカー協会、(一財)サニックススポーツ振興財団

世界中からトップレベルのユースチームが集結し、その技術と才能を競い合う貴重な国際大会です。サニックスワールドラグビーユース交流大会と並ぶ大会として、ユース年代選手の育成、国際交流を図ることを目的に開催しています。

■歴代参加国・地域 オーストラリア、ブルガリア、中国、イングランド、フランス、インド、イタリア、韓国、オランダ、ニュージーランド、ロシア、タイ、アメリカなど(2024年までの累計参加者：8,369人)
女子の国内大会も2014年より実施(同累計参加者：2,176人)。



©MasafumiONO

サニックスCUP U-17国際ハンドボール交流大会 2024年10月25日～27日 開催 2008年から、毎年10月下旬に開催

主催：九州ハンドボール協会、(一財)サニックススポーツ振興財団

ユース世代のハンドボールの普及と発展、競技力の向上、グローバルな視野を持つ青少年の育成を目的に開催しています。

■歴代参加国・地域 カナダ、チャイニーズタイペイ、フランス、ドイツ、香港、韓国、オランダ、タイ、日本など(2023年までの累計参加者：4,027人)
女子大会は2013年より開催。



©MasafumiONO

サニックスCUP 国際新体操団体選手権大会 2024年11月15日～17日 開催 2003年から、毎年11月下旬に開催
※2012年度までは国内大会

主催：(一財)サニックススポーツ振興財団、(株)グローバルアリーナ

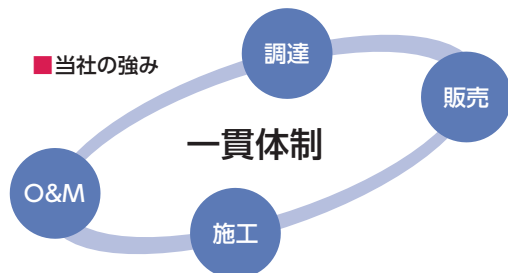
ジュニア層の新体操の普及を図るとともに、日頃の練習の成果を発表する場として、また、参加選手が技術と表現力を学び合い国際交流を図ることを目的として開催しています。

■歴代参加国・地域 オーストラリア、ブルガリア、中国、香港、韓国など(2023年までの累計参加者：12,144人)
2017年より対象の年齢層を上げた「サニックスOpen新体操チーム選手権」を1月に、国内男子による「SANIXCUP男子新体操競演会」を2月に開催。



確かな技術と積み上げてきた実績、太陽光発電の調達から、販売、施工、メンテナンスまで、 トータルサービスで、エネルギーの新時代を支える

工場の屋根やビルの屋上等の有効利用を促進し、自家消費型・第三者保有型太陽光発電システムを中心に、太陽光発電によるコスト(電気代)削減、災害対策、環境経営をサポートします。また、調達から販売、設計、施工、アフターメンテナンスまで、一貫したサービスを提供します。



法人向け太陽光発電
施工実績

約30,000件 (2024年9月末現在)

株式会社サニックスエンジニアリング 始動

2024年7月1日付で、企業・法人向け太陽光発電事業を「株式会社サニックスエンジニアリング(100%子会社)」に事業承継し、新たなスタートを切りました。

社会的ニーズの高い当事業において、経営責任を明確にしつつ、さらなる成長を促すとともに、機動的な経営判断の実現によって事業環境の変化に柔軟に対応し、事業拡大を図ります。

株式会社サニックスエンジニアリング

本社所在地 福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目1番23号

代表者 代表取締役社長 梅田 幸治

事業内容 企業・法人向け太陽光発電システム等の販売、施工、メンテナンス、太陽光発電システム機器類の卸販売等の事業及び付随する事業等

大株主 株式会社サニックス(100%)

主な商品・サービス お客様のニーズに合わせて、最適な太陽光発電システムのかたちを提案

自家消費型/第三者保有型太陽光発電

自家消費型モデルは、お客様の施設(工場、倉庫、事務所の屋根など)に太陽光発電設備を導入し、発電した電気を同施設内で使用するスキームです。また、第三者保有型(PPA)モデルとは、導入費用自己負担0円で始められる、太陽光発電システムの導入スキームです。



Non-FIT太陽光発電

再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT)を利用しない導入スキームです。当社が、EPC(設計、調達、建設)事業者として、太陽光発電を利用し、環境価値を融合した再生可能エネルギーの電源を所有・活用されたいお客様に開発・提供します。



O&M(メンテナンス)

定期点検、遠隔監視装置等、太陽光発電に特化した専門技術者が太陽光発電運営をサポートします。メーカー保証に加えて、自然災害補償もあり、設置後のO&Mのサポートも充実しています。



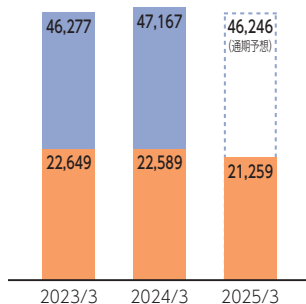
決算ダイジェスト

2025年3月期 中間期の連結業績

(2024年4月1日～2024年9月30日) ■ 中間期 ■ 通期

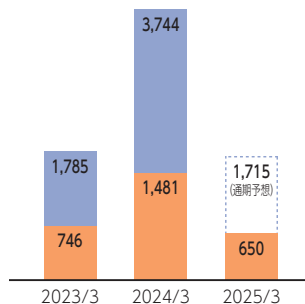
売上高

(単位:百万円)



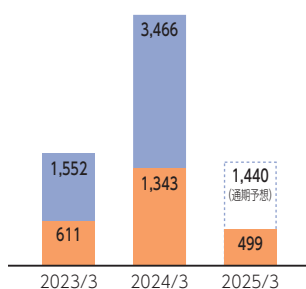
営業利益

(単位:百万円)



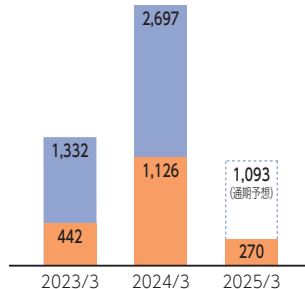
経常利益

(単位:百万円)

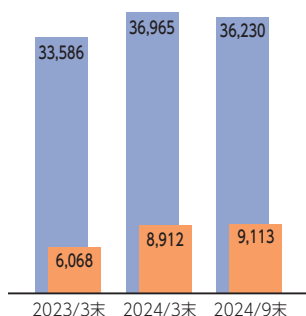


親会社株主に帰属する 中間純利益

(単位:百万円)

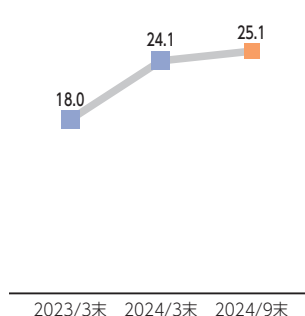


総資産 純資産 (単位:百万円)



自己資本比率

(単位:%)



会社概要 / 株式状況

会社概要 (2024年9月30日)

商号	株式会社サニックス (英文名 SANIX INCORPORATED)
本社所在地	福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号
設立	1978年9月
資本金	42億538万円
社員数	2,085人(連結)

役員 (2024年9月30日)

代表取締役社長	宗政 寛
取締役副社長執行役員	稲田 剛士
取締役常務執行役員	増田 道正 田畑 和幸 武井 秀樹 井之上 基
取締役・監査等委員(常勤)	金子 賢治
取締役・監査等委員(社外)	金子 直幹 久保田 康史 馬場 貞仁 大江 啓之

(注)金子 直幹、久保田 康史、馬場 貞仁、大江 啓之は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

株式の状況 (2024年9月30日)

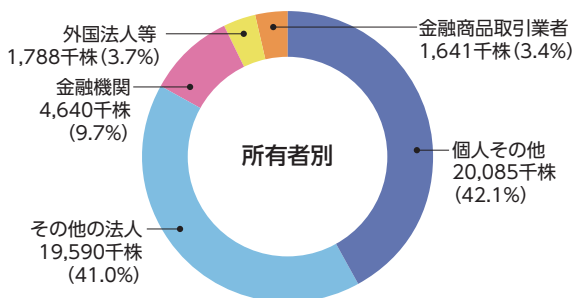
発行可能株式総数	163,500,000株
発行済株式総数	48,919,396株
株主総数	10,888名

大株主

氏名または名称	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社バイオン	8,716	18.23
宗政 寛	6,454	13.50
光通信株式会社	3,582	7.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,399	7.11
株式会社UH Partners 2	3,281	6.86
一般社団法人サニックス共済会	1,700	3.55
サニックス社員持株会	1,238	2.59
株式会社エフティグループ	1,008	2.10
株式会社SBI証券	882	1.84
株式会社西日本シティ銀行	536	1.12
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	475	0.99

※持株比率は自己名義株式(1,115,281株)を控除して計算しております。

株式分布状況



※単元未満株式及び自己名義株式(1,115,281株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会議決権の基準日	毎年3月31日
剰余金配当の基準日	毎年3月31日、9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-288-324(通話料無料)
株主総会資料の 電子提供制度(書面交付請求) についてのお問い合わせ	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電子提供制度専用ダイヤル TEL 0120-524-324(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場、 福岡証券取引所

電子公告

公告掲載URL <https://sanix.jp>

公告の方法

ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(みずほ信託銀行)にお問い合わせください。なお、みずほ信託銀行及びみずほ証券全国各支店にてもお取次ぎいたします。

シロアリや湿気の害からマイホームを守ります。

見えないところだからこそ、定期的なチェックをお勧めします。

まずは

床下調査(無料)でお住まいの健康をチェック!

お客様のご都合に合わせて、サニックスの専門スタッフが伺います。

日時の指定ができますので、お気軽にお申し付けください(日曜・祝日の調査も可能です)。



床下調査

床下収納庫や和室の畳を上げて入ります。



結果報告



ご提案・お見積り

調査・お見積りは無料です。



責任施工

(有料)



シロアリ消毒
安心保証(5年間)

お客様相談室(通話料無料) ☎ 0120-39-3290 受付時間 8:30 ~ 17:30(土日祝も承っております)

廃棄物処理のプロが監修! お悩み解決します

2年間 無料キャンペーン

公募期間

2024年10月1日~2025年9月30日

※無料対象期間 システム運用開始日から2年間

環境エス

一元くん



環境エス一元くんは、排出事業者向け廃棄物管理システムです。廃棄物の回収依頼処理状況、データ管理まであらゆるシーンで貴社をサポートします。詳しくは、左記の二次元コードからご確認ください。

株式会社サニックス

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号

TEL.092-436-8870

URL.<https://sanix.jp>

サニックス

検索



UD
FONT



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。